



「みやぎSDGs塾・標準コース」第4ターム後期の受講メンバー

参加の目的を発表

第4ターム・後期の初回の講座となった今回の「みやぎSDGs塾・標準コース」に、「みやぎSDGsアンバサダー」を目指す新たなメンバーが集まりました。



メンバーの話に耳を傾ける参加者

連携し、SDGs活動を地域に広めていく役割が期待されます。今回の講座に参加したのは、県内企業や学校、自治体などから集まったオンライン参加を含む24人。地元企業として、今まで以上に地域に貢献していくためのヒントを探りたい(山一地所・佐藤浩一さん)、「広報担当者として、自社の業務がSDGsに関わっていることをどのように発信していけばよいか、他社の取り組みを参考にしたい」(SKホールディングス・松本優さん)、「これまで『SDGs塾』で出会った企業が生徒の研修

参加者の声

何ができるか考えたい

「SDGs塾」に参加することになり、当組合が行っている地域貢献活動とSDGsの関連を考えたようになりました。仕事を通して自分が何ができるのか、学びの中で見つけられたらと思います。



宮城県民共済 宮崎和奏さん

グループで交流を深める 講座の後半は、4、5人のグループに分かれて意見交換。日常の業務や学びの中で感じていることをSDGsと関連付けて話し合い、これから共に学ぶ仲間として交流を深めました。

を受け入れるなど、学びの場を提供してくれている。今後はさらに多くの企業との連携の可能性を探っていきたい(仙台高校教諭・渡部真路さん)、「大学で学んでいる分野以外について、幅広く知識を得たい」(宮城大学フードサービス論研究室・石井祥裕さん)など、それぞれに「SDGs塾」に対する期待を語りました。

2 みやぎSDGs塾って?

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGsファーム」の基幹プログラム。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成する「標準コース」と、具体的な事例の発展に向けて議論する「実践コース」の2講座が開講され、2021年から河北新報社が運営しています。

参加はこちらから!



賛同企業

募集中!!



公式HP 申し込み・問い合わせ 河北新報社営業局 TEL / 022-211-1318 MAIL / koukoku@po.kahoku.co.jp



さまざまな立場の参加者が交流する「みやぎSDGs塾・実践コース」

「SDGs塾」の紅邑さんは今後の進め方について毎回、あらかじめテーマを設定することで、より深いディスカッションをしていきたい。話し合うテーマを参加者の皆さんから募りたい」と提案しました。この提案に基づき、6月24日の「実践コース」では「ソーシャルベンチャーの海外事情」をテーマに意見交換しました。

5月27日の「実践コース」には、15人ほどが参加それぞれの職種・立場から、現在の業務や活動を通じたSDGsとの関わりや今後の展望について紹介しました。「SDGsとうほく」の紅邑さんは今後の進め方について毎回、あらかじめテーマを設定することで、より深いディスカッションをしていきたい。話し合うテーマを参加者の皆さんから募りたい」と提案しました。この提案に基づき、6月24日の「実践コース」では「ソーシャルベンチャーの海外事情」をテーマに意見交換しました。

より深い議論へ

第4ターム みやぎSDGs Farm 第36号 2025年7月2日(水) 発行:河北新報社営業局 特別協力:SDGsとうほく

新メンバーで始動!



SDGsとうほくの紅邑さん

SDGsとうほくは世界的に見てもとされる日本のジェンダー平等の実現度など、SDGsをめぐる現状を説明しました。紅邑さんは「普

SDGsの現状を知る 今回の「みやぎSDGs塾・標準コース」の講座では、アドバイザーを務める紅邑晶子さん「SDGsとうほく」が「地域のこと、世界のことをSDGsの視点で見よう」と題して講話。「誰一人取り残さない」「大胆かつ変革的な手段を」といったSDGsの理念を強調しつつ、SDGsの17項目の目標を環境・社会・経済の3つの視点で解説しました。また国内における相対的貧困率の高まりや、世界的に見てもとされる日本のジェンダー平等の実現度など、SDGsをめぐる現状を説明しました。紅邑さんは「普



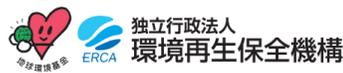
グループ内で考えを伝え合う参加者

段の仕事や暮らしの中で、あまり意識せずにSDGsにつながる行動をとっている人は多い。学びを通して社会課題を「自分ごと」で捉えらるようになったら、また新しいアクションにつながるかもしれない」と指摘。さらに、「みやぎSDGs塾」での交流を通じ、他業種、学校、自治体などとの連携の可能性を探ってみては」と参加者に語りかけました。

第4ターム参加者(敬称略)

- 【荒町商店街振興組合】 庄子康一【YES工房】 大森文広【SKホールディングス】 松本優【エントワデザイン】 佐藤寛和【オフィス塩騒】 加藤貴伸【環境再生保全機構】 田名和也、石黒遥【国分東北】 佐藤悟、種田茉友、千田李奈、高本和樹【仙台グルメ】 橋上翔大【大日本印刷】 阿部巧、小泉一也、矢島迅人、大沼真洋【タイハク】 南條世紀、水戸伸祐、加藤ひなの、京亮汰、若本侑樹【日建リース工業】 木村浩一、佐藤柊斗【日本旅行東北】 櫻井寛也、鈴木優希、伊藤佳奈【日立ソリューションズ東日本】 大柴千翔【松島蒲鉾本舗】 葛西健太郎、曾我麗子、吉松智代【宮城県民共済生活協同組合】 松野友紀、鹿野大、加藤雅也、今野凌汰、菊池佑輔、宮崎和奏【みやぎ生活協同組合】 高橋美咲、石田詩歩、乙戸沙織【ミライトス】 鈴木圭介【山一地所】 白澤峻平、佐藤浩一【WACO CREATE】 岩村和哉、岩村優香【仙台高等学校】 渡部真路【尚綱学院大学】 坂本真斗、佐藤翔太、安孫子裕貴哉、阿部運【宮城大学】 石井祥裕、石田夏寧、尾形心、佐藤愛梨、鈴木安純、中村暖彩【オブザーバー】 紅邑晶子、高橋好郎、高浦康有

賛同企業・団体・個人



特別協力 SDGsとうほく

協力 宮城県 JICA東北 WACO CREATE

荒町商店街振興組合 仙台高等学校

YES工房 オフィス塩騒

いなか道の駅やしまや 尚綱学院大学SDGsセンター

宮城大学フードサービス論研究室

多賀城工場地帯連絡協議会